

# かけはし

第42号 平成11年12月15日発行  
千代田区教育委員会



わたしも消防士！（番町幼稚園）

主  
な  
記  
事

☆ 総合的な学習の時間の実践に向けて  
—教育研修会(パネルディスカッション)から—

☆ 幼稚園の様々な活動から

☆ ウェストミンスター市への中学校生徒派遣

幼稚園に真っ赤で大きな消防自動車  
がやってきた。たくましい消防士にの  
せてもらった。「すごい」「かっこいい」。

消防自動車は園児たちの歓声も一緒  
にのせて校庭を走りました。

\*教育広報「かけはし」は資源保護の  
ため再生紙を使用しています。

# 総合的な学習の時間の実践に向けて

— 教員研修会(パネルディスカッション)から —

11月4日(木) 千代田区立教育研究所  
で、小・中学の教員を対象に、「総合的な学習の時間の実践に向けて」をテーマに、パネルディスカッションによる研修が実施され、多くの教員が出席し、活発な意見交換が行われました。この様子を紹介します。

司会 福田 睦男(教育研究所)  
発言者 青木 靖(番町小校長)  
門脇 正(九段小教頭)  
小林 猛(今川中教諭)  
大島ちはる(富士見小教諭)

**福田** 平成十四年度から実施される新しい教育課程は、「生きる力」の育成が基盤となつていますが、「総合的な学習の時間」が創設され、大きな期待が寄せられています。

総合的な学習の時間によって、千代田区の学校教育をどう変えていくかという方向で、お考えを述べていただきます。

## 「総合的な学習の時間」のねらい

**青木** 本来「生きる力」というのは、各教科の指導の大切な要素ですが、とすれば教科学習が知識・理解だけの指導に傾き、落ちこぼれや不登校の問題の背景になってはいないでしょうか。教科書のみにとらわれた学習に終始し、本当に生きる力になっているのかといった反省があります。教科

学習の中で埋没したり欠落したりしている部分を総合的な学習の指導の時間で掘り起こしたり補ったりすると考えています。

**福田** 総合的な学習の時間に身に付く知識や技能というのは、教科学習とはどう違うのでしょうか。

**門脇** 教科学習などで身に付いた知識や技能・資質能力というものは、子ども自身の力として身に付いていなければなりません。しかし学校で学んだ知識や技能が生活の中で直接役立つものとして、活用できる機会が非常に少ない。知識や技能を相互に関連付けて、総合的に働くようにするというのが総合的な学習の時間のねらいといえます。なお、この時間の実施に当たっては、

①地域の自然、文化施設、人材など情報収集を行う。  
②学習課題については、各教科の領域を横断的に関連付ける。

以上が重要でないかと考えます。

**青木** 総合的な学習の時間で「生きる力」と盛んに言われていますが、教科指導でも「生きる力」はある。その関係や違いはどうでしょうか。

**門脇** 総合的な学習の時間で身に付く力は二つあると思います。一つは情報活用処理能力です。それはコンピュータの活用だけでなく、情報の集め方、まとめ方を身に付けることです。もう一つは、学び方や考え方の基本を身に付ける。総合的な学習の時

「総合的な学習の時間」は、これまで画一的といわれてきた学校の授業を変えて

- ① 地域や学校・子供たちの実態に創意を生かした特色ある学校活動を
- ② 国際理解・情報・環境・福祉・健康など、従来の教科を横断するような課題に関する学習を行う時間です。教科書は使いません。



〔福祉教育〕

間て身に付けた報告、発表・討論の仕方などを各教科で生かすことが大切です。

**福田** 「体験さえすれば」という短絡的な考え方になりませんか。

**門脇** 各教科との関連をもたせながら、生活の中で生かされ、総合的に働いていくようにすることを念頭に置けばクリアできるかなと思います。

## 子ども主体の学習活動

**福田** 体験的な学習活動を行うに当たって留意点は何でしょうか。

**大島** あくまでも主体は子どもであり、教師は支援に回ることが大切です。強力な支援が必要な場面として、  
①子どもが自分で課題を見付ける作業では、興味や関心を引き起こすきっかけや、発想を促すきっかけを作る。  
②多様な学習内容を含んだものにする。などがあるでしょう。

方を見直す必要があります。基礎・基本が大切といわれているが、教師が自分の教科の時間を取った、取られたというのではなく、教育課程全体を見ながら、総合的な学習の時間をどうやっていこうかと全校で考えていく、こういう進め方がないとまずいのではないかと思います。

**Q** 番町小では三年前から「ふれあい給食」を始め、今年度は総合的な学習の時間で行っているということですが、昨年までの違いがあれば教えてください。

**A** 今までの「ふれあい給食」は、地域のお年寄りをご招待し、三年生と一緒に給食を食べていただき、交流を図ってきました。今年は地域の皆さんがどうしたら学校にきてくださったって交流を深めることができるのかを課題に、最初から子どもたちが取り組むようにしました。番町地区にお年寄りは



左より 小林教諭 青木校長 福田所員 門脇教頭 大島教諭

**Q** 富士見小では国際理解教育を展開されていますが、問題解決をする資質能力として、どんなことを目指していますか。

**A** 現在では「ゆとりの時間」を活用して異文化理解教室と外国語に親しむ時間を行っています。自分の国と他の国の文化の正しい知識を得たり、誰とでも仲良くできるという、人権を基調にした学校教育目標の具現化を求めています。総合的な学習の時間でやるとなると、資質能力や評価のあり方の細かい分析が必要で、現在模索中です。

**Q** 総合的な学習の時間に対する親の意識と教師や学校の願いにズレが生じるのではないかと危惧しています。総合的な学習の時間に英語をやっている学校と、ゴミ問題をやっている学校があれば、「英語をやった方がいい」と考える親はいると思います。そのギャップをどう乗り越えたらよいのでしょうか。

**A** 教師が先まで踏み込んで、「そうじゃない

子どもが興味や関心から選んだ問題を教師がよりふさわしい課題に整理し、しっかりと課題意識をもたせることが重要です。「何を身に付けさせたいか、どのような子どもにならなければならないか」というものを教師がしっかりと決めていなければ、支援はできません。自分の学校が目指す子ども像や育てたい資質能力が何なのかを明らかにして、その方向に向かって子どもに興味、関心を引き出していくことが大事な事だと思えます。

## 教育課程の編成

**福田** 教育課程をどう編成したらよいでしょうか。また総合的な学習の時間というものをどう家庭や地域の人々に理解してもらいますか。

**小林** 頭に浮かぶのは、いわゆる「時間割」が大変であるということです。親の立場で進学を考えたときに国語・数学・英語・理科・社会といった受験科目を削っていいのかと考えます。そして、音楽や美術なども軽視できない。また総合学習の指導の重点、方針などを保護者や地域の人たちに十分に理解してもらわなければなりません。

**福田** これから実施まで移行措置の期間の中で、各学校ではどう具体化していくかということになりますね。

**小林** 子どもたち一人一人の意見を取り入れることは大変です。最初の手がかかりとして、全校の先生たちが総合的な学習の時間について考えを深めることです。そして学校や子どもの実態を考えて案をたてる。子どもや親をある程度把握している教師が



「今の学校は何をやっているのか」「いいい」という気持ちをもつことが大切だと思います。教師が力を合わせて明文化したもので親に学校の方針を伝え、意見を聞く。英語ばかりでなく、ゴミ問題も重要だと考える親もいるに違いありません。どの親に対しても学校はきちんと伝え、親と本気になつて取り組んで行かなくてはならないと思えます。

「今」の学校は何をやっているのか「いいい」めや不登校などなくならなら」「詰め込み勉強主義ではないけない」という社会の声から総合的な学習の時間は生まれたのではないかと思います。最終的に子どもが楽しく学んでいる姿を見れば、親は安心できるのではないかと思います。

総合的な学習の時間が子どもたちの健やかな成長とすばらしい将来を迎えるうえで有意義なものとなるよう期待したいと思えます。



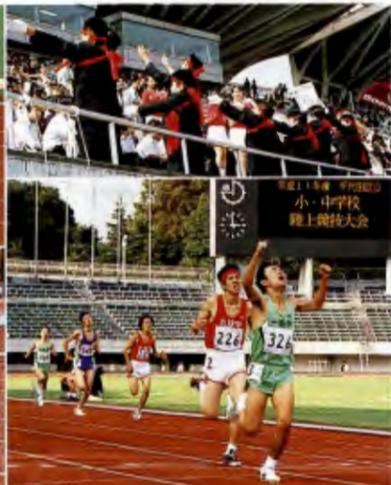


ちから出し切った連合陸上

快晴に恵まれた10月6日、平成11年度千代田区立小・中学校陸上競技大会が駒沢オリンピック公園総合運動場で開催されました。

小学校の五・六年生、中学校の全校生徒と、婦恋村からの代表選手二十数名が、練習で鍛えた力を競い合いました。今回の大会では、一つの大会新記録が生まれました。

大会新記録  
五年女子50m障害走 記録 9秒46  
氏名 柳澤 祥子(お茶の水小)



おはなし会へどうぞ 図書館

「おはなし会」が千代田図書館で始まりました。小学生以下の子どもたちを対象に、お話し・絵本・紙しばいなどを読み聞かせるものです。なお、四番町図書館でも、これまで通り、「おはなし会」を行います。

来年は、子どもたちの読書活動を国を挙げて応援する「子ども読書年」です。図書館では、今後も子どもたちが読書に親しむ機会を拡大してまいります。



いっすんぼうしに聞き入る小学生たち

千代田図書館・四番町図書館では、12月26日(日)を臨時に開館いたします。

(利用時間は午前9時～午後5時です)

お子さんについての心配ごとを 教育相談に—— 教育研究所

教育相談部では、幼児や児童・生徒、及びその保護者を対象に、不登校や学業不振・家庭のしつけ・発育の問題などの教育相談を行っています。(秘密厳守)

教育相談のなかの学業不振については、相談を通して援助が必要と認められるお子さんに、当研究所内で習熟の程度に応じた学習指導を行います。

祝祭日を除く月曜日から金曜日まで、時間は、放課後から一日40～50分程度です。また、曜日と期間は相談の上、個人別に定めます。

対象の科目は、小学生が全教科、中学生は国語・数学・英語です。(無料)

※事前に電話で予約して下さい。

問い合わせ・予約先

千代田区立教育研究所教育相談部  
☎(3)256(8)140

中学校連合文化祭



今川中



麹町中

婦恋自然体験交流教室



大きなダイコンだよ

特選・文部大臣奨励賞

「第49回全国小・中学校作文コンクール」(読売新聞社主催)の詩・中学校の部で、麴町中学校三年生の伊沢松太郎さんが文部大臣奨励賞を受賞しました。なお、この作品は12月1日付読売新聞朝刊に掲載されました。

「月夜の猫」

麴町中学校三年

伊沢松太郎

今宵 Crescent moon  
君の瞳の光に照らされ  
君の爪の音に誘われ  
知らぬがりを装って  
知りたがりやの顔かくして  
やってくる僕の隣に居るため  
そして僕を脅迫する眼  
あの秘密知ってしまふか  
どの嘘が見破られたのか  
御機嫌どうも笑わない  
感してみせても泣かない  
やがて大きく深呼吸する  
緑色の瞳がじつと僕を見て  
「アイヨ、アイヨ、ダマッテイアゲル  
アノコトモ、コノコトモ  
シッテイルクド、ダマッテイヨウ  
イマワケニ」  
今宵 Crescent moon  
猫が猫以上の向かになる夜  
今宵 Full moon  
コップには水がたこぼり  
紙面の上のあらゆる情報  
知らぬがりを装って  
知りたがりやの顔かくして  
出かけていく集会のため  
羨ましいならんと言わんばかりの眼  
長い尾はしなやかな鞭  
瞳はぬれてる。露のよう  
音も無く走り廻り  
風の中匂いも残さない  
今宵 Crescent moon  
尻尾の先まで毛繕いが終わる  
ゆっゆっとして体をまめる  
今宵 Full moon  
進化が尻尾に安る夜  
今宵 New moon  
死んだように君は眠る  
夢も見ないへんが深い眠り  
そして君の細胞は壊れ再生され  
新しい月が育つてゆくんだ  
君の瞳にまよ」  
(指導員 升崎愛子先生)

生活用具のうつりかわり 時計

時間を計ったり、確かめるために使う道具を時計(とけい)といい、一日を二十四時間で区切る定時計が用いられています。

わたしたちが使っている時計には、壁や机に配置するもの(掛時計・置時計)や、身につけるもの(懐中時計・腕時計)などさまざまな種類があります。機械式の時計はヨーロッパで誕生し、最初は大形の掛時計や置時計が盛んに作られていましたが、一八世紀になると次第に小型の時計を作るようになります。さらに、二〇世紀の初めには、腕時計が作られ、人々に普及していきます。

日本には戦国時代、一五五一(天文二〇)年に宣教師フランシスコ・ザビエル



懐中時計



掛時計

が伝えました。しかし、日本では昔から、日の出から日没までの長さを基準とする不定時法(夏と冬で長さがちがう)が使われていましたので、ヨーロッパの時計を不定時法に合うように改良した「和時計」が発明され、江戸時代を通じて使われます。

今使っているような時計が日本で作られたのは明治一〇年ぐらいのことです。外国製品をまねて、まず掛時計(ボンボン時計)が、次に懐中時計が作られます。今でも知られている有名な時計会社は次々にでき、日本独自の製品が作られるようになっています。現在では、世界一の生産を誇っています。

何年か前に新橋のヤクルトホールで詩人のサトウ・ハチローさん（故人）が主催していた詩誌「木曜手帖」三百号記念のフアミリー・コンサートが開かれ、

かつてその同人であった私も招かれ数々の歌を楽しく聴きました。ポニー・ジャックス、真理ヨシコ、小鳩くるみさんなどが「木曜手帖」の歌「ちいさい秋みつけた」「べこの子うしの子」「かあさんの歌」など、ハチローさんの歌とそれに添えて弟子たちの作詩による歌もたくさん発表されました。休憩時のロビーで、「栗岩先生！しばらく。先生、私の歌ぜひ聴いて下さいね。私の歌の一つに、ほら、あの頃、Y先生の家の床の間に掛けてあった。何でも仲よく半分こ」の言葉が忘れられなくて作詩した歌があるんですよ。」

若い女流作家のK子さんが弾むような声で話しかけて来ました。私は大変嬉しく、あの頃を思い出しながら聴いたことでした。K子さんはハチローさんの弟子の一人。今では立派な詩人で二児の母。ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」の劇中歌の訳詩なども手がけています。修業時代はY先生のお宅にも時折遊びに来ていました。

ところで、私が思い出にふけたあの頃とは、私は独身時代、訳あってY先生（前出）の家で書生暮らしをしていました。その頃、大学教授の恩師の家庭は経

済的に苦しく、お子さんが四人、それに教師として働いていても生活費を払わぬ私、師の親戚の学生という家族と同居人で相当切り詰めた暮らしぶりでした。もちろん、師はそんなことでへこたれたり、愚痴をこぼされたりなさる方ではなく、いつも明るく積極的に生活し、ものごとに前向き、プラス思考で対処されています。そしてある時、床の間に『何でも

## やさしい言葉の種をまく



栗岩英雄

「やさしい言葉の種をまく」と書いた書を掲げられました。お子さんたちが、菓子でも果物でも学用品の用紙や鉛筆でも……何でも仲よく半分こして戴いたり使ったりしようという「導き」をされたのでした。国文学者で歌人でもあった師・Y先生は、「言葉」について語る時いつも、「言葉は人と人とを縫い合わせる糸の役

目をしている。だから我われはその糸（言葉）を大切にし、愛情のこもった触れ合いが出来るようにしたい。苦しい時はお互いにいたわり合い、悲しい時には互いに涙を流し合うなど、真の触れ合いが一番大事。我われは自分の吐く言葉を常に自分で顧み、いつ、どこでも本当に人間らしい人間が語る真語の妙なる響きをいつも心や口の中にひびかせ発露させたい。そういう行為を「やさしい言葉の種をまく」と言います。」

再びコンサートのことへ。K子さん作の詩の歌が紹介されました。「ふたりで、半分こ」よく耳に入って来る歌でした。

「Jステットいちまい あつたら あつたら ジョリイとボクで 半分こ ちよつぴりかなしく なつたら なつたら なみだもふたりで 半分こ」

当時、NHKの人気番組「名犬ジョリイ」の主題歌は全国津々浦々の子どもたちが口ずさんだ歌でした。あの床の間の言葉がやさしい種となって広くまかれたのでした。

「新しく迎える世紀はコミュニケーションの時代と言われています。」

くりいわ ひでお  
千代田区教育委員長  
元錦華小学校長・幼稚園長

今号では、幼稚園の特色ある活動の中から、地域との交流の様子の一部を紹介しました。少子化や核家族化が進み、異なる年代の人たちと触れ合う機会が少なくなってきた今の子どもたちも、ふとしたきっかけで、誰とでも仲良くなれる術を持っているようです。

さて、今年も残りわずかとなりました。11月に起こった自衛隊機の墜落事故では、送電線が切断され広範囲にわたり停電して大きな混乱を招きましたが、コンピュータの西暦2000年問題ではどのような影響があるのでしょうか。千代田区では不測の事態に備え、大晦日から元日にかけて警戒態勢をとります。千年の節目ということもあり、例年とは少し雰囲気の違いとなるかもしれません。

皆様にとつて新年が、夢と希望に満ちた年となりますように。良いお年をお迎えください。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第四十二号  
平成11年12月15日発行  
編集発行/千代田区教育委員会  
☎102 8688 千代田区九段南1-6-11  
☎(3)264-0151 内3114